



教育推進室だより

第8号

平成 28 年 10 月 14 日
武蔵野市教育委員会
指導課教育推進室
電話 60-1241

出 会 い



武蔵野市立小中学校長会会長（第五中学校長）菅野 由紀子

今から 10 年以上前のことです。武蔵野市内の中学校で勤務していたとき、私は道徳の授業を通して、感動と感謝に出会いました。思い返すと、その授業が「道徳」の勉強を真剣に始めるきっかけともいえます。道徳授業の題材は、「命の私物化」。グローバル化が進展し、様々な情報や価値観を背景とした社会の中で、「本当に大切なものは何か」を生徒に考えさせることをねらいとした授業に取り組んだときのことでした。

『どんな状況であろうとも命をないがしろにする行為は許されない。自分の命も他の人の命もかけがえのないもの』を生徒が自分の問題として受け止め、自覚し、よりよい生き方を考える授業のための方策として、保護者ゲストティチャーをお招きしました。そして、授業の終末でかけがえのない命に対する親の思いを生徒に伝えていただきました。その一部を紹介します。

…このかけがえのない「いのち」を生んだ親は、無条件に我が子を愛して、愛おしく思うものです。そして、たくさんの幸せ、たくさんの愛を感じて育てて欲しいと思うものです。人が生きていくとき、どんなかたちにせよ、人は人に支えられて生きていくのだと思います。長い人生の間には、辛いことやしんどいことやもうどうにでもなれと思うことに直面することがあると思うのです。そんなとき、選ばれたあなたの大切な「いのち」を自分で簡単になくしたり、傷つけたりだけはしないで欲しいと願っています。たったひとつしかない選ばれた「いのち」だから。辛いときやしんどいときは、どうか誰かに支えてもらいながら「いのち」の充電をしてください。その誰かに、親がなれたら嬉しいなと思います。生き方の修正は、何度でもできると思うけど、なくしてしまった「いのち」は修正不可能です…。

メッセージと一緒に穏やかで温かい空気が、生徒を包み込んでいました。その心地よい空気は、生徒の心に新しい何かを運んでいました。その時間の生徒の授業記録に「生まれるということは生きるためということがわかった」「一人の人間としてしっかり生きていきたい」というものがありました。かけがえのない命を慈しむ心や自分自身を見つめ直す眼、生きることへのエネルギーを伝えてくださった保護者の方のメッセージに感動と感謝があふれました。

今年度から武蔵野市地域コーディネーターが市立小中学校に置かれました。「出会い」は、人であったり、物であったり、自然であったり、ときには感動や感謝だったりします。保護者や地域と連携した学校教育を推進するために、地域人材の紹介や支援をしていただく地域コーディネーターの方々と協力して、教育活動に素敵な「出会い」を重ねていきたいと考えています。

「小中連携教育推進委員会報告書 教職員アンケート」及び 「未来の学校を考える市民意見交換会」の結果について

（１）未来の学校を考える市民意見交換会等の開催について

地域の方や保護者、市民の方とともに武蔵野市における今後の学校教育について考えることをねらいに、市内在住、在勤、在学の方や幼稚園・保育園の保護者の方等を対象に合計 11 回開催し、254 名の方にご参加いただきました。また、同様の趣旨で学校関係の 8 団体の会議で約 160 名の方に対し、小中連携教育推進委員会報告書について説明を行いました。



市民意見交換会の様子

小中一貫教育の教育課程や学年区分、教科担任制、小中一貫教育のメリット・デメリット、施設一体型の場合の学校規模や学区等について、様々な御意見をいただきました。

（２）小中連携教育推進委員会報告書 教職員アンケートの結果について

市内小中学校の全教職員を対象に「小中連携教育推進委員会報告書」の内容についてアンケート調査を平成 28 年 7 月に実施いたしました。主な結果は以下のとおりです。

小中連携教育推進委員会報告書 教職員アンケートまとめ（抜粋）

【回答数 373 名 回収率 87.2%】

1 9年間を通して、小学校と中学校の教員が連携して教育を進めて行くことは必要ですか。

とてもそう思う 12.6% 思う 57.9% あまり思わない 22.0% 思わない 7.0%

2 質問 1 で「とてもそう思う」「思う」と回答した人のお聞きします。小学校と中学校の教員が最も連携しやすい形態についてどのように考えますか。

施設一体型 43.3% 施設分離型 43.7% その他 13.3%

3 小中一貫教育により、現在行っている教育指導面の効果を一層高めることができますか。

とてもそう思う 4.6% 思う 38.9% あまり思わない 39.4% 思わない 13.7%

今後、「未来の学校を考える市民意見交換会」及び「小中連携教育推進委員会報告書 教職員アンケート」で、地域や保護者、市民、教職員の皆様からいただいた御意見を踏まえ、小中一貫教育調査研究ワーキングチームでさらに検討してまいります。

【 着任のお知らせ 】

学校支援コーディネーター



よろしく
お願いします。

長村康司学校支援コーディネーター

本年 5 月 20 日、地域コーディネーターが各校に配置されましたが、その取りまとめ役ともいえる学校支援コーディネーターが、この 9 月 1 日に教育推進室に着任しました。これまでは小森教育推進室長が兼務していましたが、今後は専任職員の着任で、地域コーディネーターの活動をさらに支援していきますので、ご期待ください。

新たに着任したのは長村康司（おさむら・こうじ）学校支援コーディネーター。元市職員で、青少年問題協議会やジャンボリーの所管課にも在籍し、多くの青少年団体関係者との面識もあり、多様な連携を支援できるものと自負しています。

すでに、長村学校支援コーディネーターは、各校での課題や今後の取り組みなどの情報交換等を、地域コーディネーターや管理職等と行うために、学校訪問を始めています。

地域、学校の皆様のご支援、ご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

I C T が子どもたちの学びを変える

武蔵野市教育委員会では、現在、子どもたちの学習意欲の向上や分かる授業を目指して、教育活動における I C T 機器の活用を推進しています。昨年度から今年度にかけて、全ての小・中学校の全学級に常設型の電子黒板付プロジェクター、書画カメラを設置したほか、デジタル教科書を導入しました。また、中学校 2 校（第二中、第三中）にモデル校として、タブレット P C 41 台を導入し、効果検証も進めてきました。

各学校では、デジタル教科書や書画カメラを授業で活用して、視覚的に分かりやすく表示したり、タブレット P C を活用して、児童・生徒の意見を学級全体で共有したり、体育の授業でお互いの動きを見せ合ったりするなど、様々に I C T 機器を活用した教育活動に取り組んでいます。

これらの I C T 機器の活用をさらに推進するために、市教育委員会として I C T 教育推進委員会を設置し、各校の取組について情報交換を実施しているほか、I C T 機器を授業で活用する際の I C T サポーターによる支援、I C T 機器の活用に関する研修の実施など、教員のスキル、活用能力の向上に努めています。

平成 29 年 1 月 27 日（金）には、I C T 機器活用の教育課題研究開発校として、大野田小が研究発表を行います。研究内容や開発した実践を共有し、児童・生徒の学ぶ意欲や学力の向上を目指し、I C T 機器を活用した教育のさらなる推進を図っていきます。



電子黒板付プロジェクターとタブレット P C を活用した授業の様子

～中学生のスポーツの祭典～

武蔵野市内中学校総合体育大会 開催

平成 28 年 8 月 17 日から 11 月 6 日まで、武蔵野市内中学校総合体育大会が開催されています。本年度はリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催と重なったこともあり、各会場とも、オリンピック・パラリンピックでの感動を彷彿させてくれる熱気ある試合が展開されています。

生徒たちが日頃の練習の成果を発揮し、水泳や陸上の個人種目でも好記録が出ています。4 年後の 2020 東京オリンピック・パラリンピックで活躍する選手が、この中から出るかもしれないと期待できる大会となっています。

実施された種目と団体優勝校は下記の通りです。なお、硬式テニスは 11 月 6 日（日）に実施する予定です。



繰り広げられる熱戦

平成28年度 市内中学校総合体育大会 中間報告（団体戦）

バレーボールの部	女子	優勝 吉祥女子中学校	ソフトテニスの部	男子	優勝 第一中学校 A
	男子1年	優勝 第四中学校		女子	優勝 第四中学校 A
	男子2年	優勝 第四中学校		男子	優勝 成蹊中学校
	女子1年	優勝 第四中学校		女子	優勝 成蹊中学校
バドミントンの部	女子2年	優勝 第一中学校 A	水泳の部	男子	優勝 第四中学校
	男子	優勝 成蹊中学校		女子	優勝 第四中学校
	女子	優勝 藤村女子中		男子	優勝 第四中学校
	男子	優勝 成蹊中学校 A		女子	優勝 第四中学校
バスケットボールの部	男子	優勝 成蹊中学校 A	サッカーの部	男子	優勝 第四中学校
	女子	優勝 武蔵野女子学院中学校 A		女子	優勝 第四中学校
卓球の部	男子	優勝 第一中学校	※ 硬式テニスは、11月6日実施予定です。 ※ 剣道の部も実施されましたが、団体はありません。 ※ ソフトボールは平成28年度は中止しています。		
野球の部	男子	優勝 第一中学校			

シリーズ『初任の先生 “今日もがんばる！”』 <その8>

8月8日から10日に開催された初任者宿泊研修では、「ねらいを明確にした授業づくり」を目指し、グループに分かれて学習指導案検討や模擬授業を行いました。また、校外学習における安全管理の意識を高めることをねらいとして、研修会場の周辺を実際に歩く引率実習を行いました。

3日目には、指導課長を講師に、服務事故防止研修を行いました。

研修のまとめとしては、5人の代表の先生が、グループで検討した学習指導案をもとに、模擬授業を行いました。研修中に作成した短冊や場面絵などの教材を活用し、児童・生徒に分かりやすい発問となるよう留意しながら授業を進めていくことができました。



帝人アカデミー富士の屋上にて



模擬授業の様子から

模範授業後の協議では、気付いた点を互いに出し合い、2学期以降の授業の中で、改善を図っていくことを確認しました。3日間の宿泊研修を終え、参加した初任者からは「相談し、話し合うことの大切さを感じた」「代表者の模範授業を見て、自分自身の授業を見直す機会になった」「同期の仲間と交流を深めることができ、充実した研修となった」などの感想が出されました。

初任者の先生方の2学期以降のさらなる活躍を期待しています。

出前授業いたします

～地域で活躍している団体紹介 <その8>～

株式会社 武蔵境自動車教習所（代表取締役会長 高橋 勇）

武蔵境自動車教習所は、常日頃お世話になっている地域の皆様方への「感謝」の気持ちをもって様々な形で事業貢献をしています。

次世代を担う子どもたちのために子育て支援・共働き家庭の子どものための学習室（毎週水）・地域の夏祭り・花火大会・中学生の職場体験・土曜日夜間自動車教習所コースの開放など様々な貢献活動を行っています。さらに感謝の気持ちを還元できるものはないかと模索しています。

この中の中学生の職場体験受入れでは、今年、武蔵野市を含め近隣（三鷹・小金井・西東京・府中）市の13校の中学生を毎日のように受け入れています。その仕事に向かう姿勢や発言に、逆に当社社員が新鮮な発想や思考に刺激され、当社も良い影響を受けています。



武蔵野警察署とのキッズセーフティパーク

また、本年も武蔵野市内の小学校6校にキッズセーフティパーク（交通安全教室）に参加いただき、交通安全教室も武蔵野警察署と共に実施しております。

春秋の交通安全週間には、シートベルト横転体験車を使用し、出前授業として昨年は都内各所で93件の安全講習会を実施し、武蔵野市外にも感謝の気持ちで貢献しています。

今後も、「やれば出来る！！ 社会が良くなる！！ 子どもと高齢者の見守り！！」のために会社を挙げて地域社会貢献活動を続けていきます。



高橋 勇 会長

子育て支援
魅力ある街づくり

会社目標

地域の支援
住んで良かった街、武蔵境

お問合せは教育推進室または（株）武蔵境自動車教習所にお電話を

教育推進室

電話：0422-60-1241、FAX：0422-51-5113

武蔵境自動車教習所

電話&FAX：0120-15-6343、0422-51-7381

【お知らせ】

今回の教育推進室だよりでお気付きの点やご意見がありましたら、教育推進室までお寄せください。次号は、11月5日に開催される「むさしの教育フォーラム」の内容などについて紹介する予定です。